

教えて

パイセン!

サキホコレ学園による
秋田暮らしインタビュー

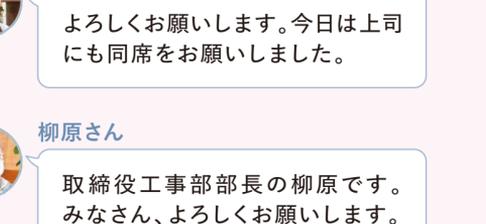
仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。
学園のメンバーが人生の『パイセン』に、
仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いちゃいました!



むつみ造園土木株式会社

今回サキホコレ学園Jチームがインタビューするのは、公共・民間の造園工事を幅広く手がけるむつみ造園土木の舩谷来夢さん。「造園」「土木」と聞くと男性社会というイメージがありますが、実際はどうなのでしょう。その辺りのこと、詳しく聞いてみたいと思います!

今回のパイセン



舩谷さん

Jチーム

本日はよろしくお願いします。

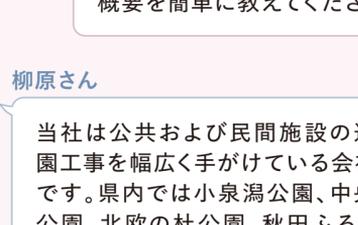


舩谷さん

よろしくお願いします。今日は上司にも同席をお願いしました。

柳原さん

取締役工事事務部長の柳原です。みなさん、よろしくお願いします。



Jチーム

それでは早速ですが、会社の概要を簡単に教えてください。

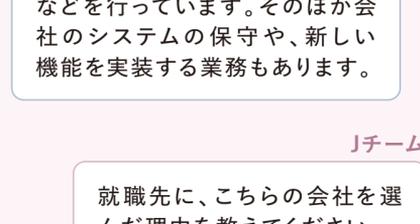


柳原さん

当社は公共および民間施設の造園工事を幅広く手がけている会社です。県内では小泉潟公園、中央公園、北欧の杜公園、秋田ふるさと村、県立野球場といった工事実績があります。また県の施設などの管理も受けており、公園などをより楽しく快適な空間にするイベントの開催等も行っていきます。そのほか道路や橋、河川や農地の改修といった土木工事も行います。

Jチーム

こちらで舩谷さんは、どのような業務に携わっていますか?



舩谷さん

総務部で社員の給与計算や社会保険の手続き、勤怠チェック、作業服の管理と補充、リース車の管理などを行っています。そのほか会社のシステムの保守や、新しい機能を実装する業務もあります。

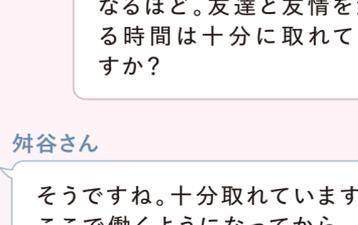
Jチーム

就職先に、こちらの会社を選んだ理由を教えてください。



舩谷さん

昔から花や植物が好きだったのと、経理の仕事に興味があったという二つの理由で、この会社を選びました。



Jチーム

県外に出ることは考えませんでしたか?



舩谷さん

少し考えました。ですが勝手の分からない土地で一から生活の基盤を整え、新しい人間関係を築いていくのに自分はずごく苦労するような気がして……。それなら慣れ親しんだ場所で働き、地元に残った友達と友情を深める方がずっといいように思えたんです。

Jチーム

なるほど。友達と友情を深める時間は十分に取れていますか?

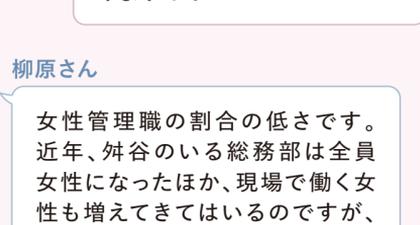


舩谷さん

そうですね。十分取れています。ここで働くようになってから、ゴルフという新しい趣味を持つこともできました。

Jチーム

アクティブなんですね!現時点で何か考えているライフプランはありますか?



舩谷さん

この会社は女性の活躍推進と、仕事と育児・家庭の両立支援にすごく力を入れているので、用意された制度を上手に利用し、いつかは私も職場の先輩たちのように子どもを育てながら働きたいと思っています。



Jチーム

ビジョンを描ける環境、ステキです。会社として、女性活躍に関する課題のようなものはありますか?



柳原さん

女性管理職の割合の低さです。近年、舩谷のいる総務部は全員女性になったほか、現場で働く女性も増えてきてはいるのですが、会社の管理職は男性主体。造園、土木はもともと男社会と言われてきた分野なので仕方のないところもありますが、会社としては今後、この部分の改善に力を入れていくつもりです。

Jチーム

女性の管理職登用を重要視するのはなぜですか?



柳原さん

結婚、出産しても長く働きたいと思う女性が増える中、やる気があって、結果を出している女性にそれ相当のポストを用意するのは当然のことです。会社のために一生懸命働いているのに、いつまでも待遇が変わらなければ、モチベーションを維持するのは難しくなりますよね?

Jチーム

確かにそうですね。ちなみに造園の現場では、どのように女性の力を生かされますか?

柳原さん

周辺環境との調和や色彩の組み合わせなどを考えなければならぬ造園の仕事は、これまで男性主体だったのが不思議なくらい女性の感性を生かせる職場です。また公園などの管理は地域住民との触れ合いも多く、女性に向いていると思います。

Jチーム

何か興味が湧いてきました(笑)秋田で造園女子が増えるよう、女性活躍推進の面でも業界をリードしてってください!本日はありがとうございました!

近年、あらゆる分野で女性の力が必要とされていますが、男社会というイメージの強い造園業界でも事情は同じでした。もはや女性だからということで、選ぶ道が限定されることはないのかもしれない。造園女子、これからどんどん増えていくといいですね!